

## 参考資料

### 1. 市民アンケート

#### (1) アンケート概要

【調査目的】	適切な公共施設等の管理に向けた市民の理解を深めるため
【調査期間】	平成 28 年 4 月 20 日～平成 28 年 5 月 11 日
【調査対象】	本市在住の 18 歳以上 1,500 人（無作為抽出）を対象
【配布方法】	郵送により対象者に調査票と返信用封筒を送付し、回答記入後、調査票を返送してもらう方法で実施
【配布数】	1,500 件
【回収数】	624 件
【回収率】	41.6%

#### (2) アンケート結果概要

##### ○回答者の属性

###### 設問 1

- ・性別は男性が 4 割、女性が 6 割で女性の方が多い状況である。

###### 設問 2

- ・年齢は、50 歳代、40 歳代、30 歳代がいずれも約 2 割で多い状況である。

###### 設問 3

- ・職業は、会社員、パート・アルバイト、無職、家事専業が多く回答を得ている。

###### 設問 4

- ・住まいは、佐屋地域が約 4.5 割、佐織地域が約 3.5 割、立田地域と八開地域が約 1 割という状況である。

##### ○公共施設等の満足度

###### 設問 5

- ・月に数回程度、年に数回程度を合わせた人が過半数以上の施設は市役所・分庁舎のみという状況であり、反対に今までに利用したことが無い人が過半数以上の施設は、占める割合が多い順で、老人憩いの家、農村環境改善センター・農業管理センター、福祉センター、社会福祉会館、郷土資料室、子育て支援センター、診療所、児童館、運動場・スポーツセンターである。

###### 設問 6

- ・施設数について、いずれの施設も満足していない人より満足している人の割合が上回っている。また、満足していない人の割合はいずれも 2 割未満である。なお、満足している人の割合が多い順に、市役所、分庁舎、図書館、文化会館、地域交流拠点施設【道の駅】となる。
- ・立地状況について、いずれの施設も満足していない人より満足している人の割合が上回っている。また、満足していない人の割合はいずれも 2 割未満である。なお、満足している人の割合が多い順に、市役所・分庁舎、図書館、コミュニティセンター、保健センターとなる。

- ・利用可能時間について、いずれの施設も満足していない人より満足している人の割合が上回っている。また、満足していない人の割合はいずれも2割未満である。なお、満足している人の割合が多い順に、図書館、市役所・分庁舎、保健センター、地域交流拠点施設【道の駅】となる。
- ・利用料金について、いずれの施設も満足していない人より満足している人の割合が上回っている。また、満足していない人の割合はいずれも2割未満である。ただし、満足している人の割合もいずれも2割未満となる。

#### 設問7

- ・インフラ資産について、公園と上水道、下水道は満足していない人が満足している人の割合を上回っている。特に公園は満足していない人が満足している人の約2倍となる。

### ○公共施設等に対する考え

#### 設問8

- ・公共施設の更新問題について、知っている、聞いたことがあるを合わせると約3分の2を占める一方、約3分の1は知らないと回答している。

#### 設問9

- ・公共施設における市が取るべき方策について、実施すべき、どちらかといえば実施すべきを合わせた人が⑦利用していない施設や土地の売却は約9割、①施設の機能の複合化・集約化、②施設の改修、③近隣自治体と協働、④民間のノウハウや資金の活用は約7割を占めているが、⑤使用料の引き上げ及び⑥地域住民の維持管理は約半数となる。
- ・インフラ資産における市が取るべき方策について、実施すべき、どちらかといえば実施すべきを合わせた人が①計画的に維持管理は約9割、②民間のノウハウや資金の活用は約7割を占めているが、③地域住民の維持管理は約4割と過半数を割っている。

#### 設問10

- ・市に1箇所のみあれば構わない公共施設について、最も多いのが郷土資料室の約6割で、次いで農村環境改善センター・農業管理センター、文化会館、地域交流拠点施設【道の駅】となる。反対に最も少ないのは児童館で、次いで子育て支援センター、老人憩いの家となる。

#### 設問11

- ・各地域に1か所必要な公共施設について、最も多いのが児童館の約4割で、次いで子育て支援センター、コミュニティセンター、診療所となる。反対に最も少ないのは郷土資料室で、次いで農村環境改善センター・農業管理センター、文化会館となる。

#### 設問12

- ・優先的に維持・充実すべき公共施設等について、最も多いのが保健センターの約4割で、次いで診療所、子育て支援センター、児童館となる。反対に最も少ないのは農村環境改善センター・農業管理センターで、次いで郷土資料室、地域交流拠点施設【道の駅】となる。

#### 設問13

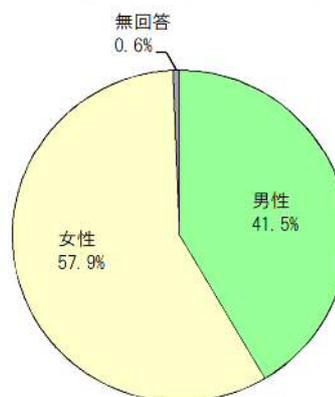
- ・統廃合しても構わない公共施設等について、利用者が少ない施設、同じような公共施設が重複している施設が約7割で過半数を超えており、次いで高い維持管理費がかかっている施設、民間で同様のサービスが提供されている施設、建物の設備や老朽化が進んでいる施設となる。

### (3) アンケート結果グラフ

#### I. あなた自身のことについてお聞かせください。

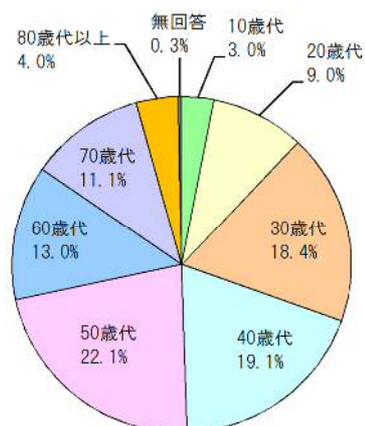
設問1: あなたの性別をお答えください。(選択肢の記号から1つ選んで○をつけてください。)

選択肢	件数	比率
1. 男性	259	41.5%
2. 女性	361	57.9%
無回答	4	0.6%
計	624	100.0%



設問2: あなたの年齢についてお答えください。(選択肢の記号から1つ選んで○をつけてください。)

選択肢	件数	比率
1. 10歳代	19	3.0%
2. 20歳代	56	9.0%
3. 30歳代	115	18.4%
4. 40歳代	119	19.1%
5. 50歳代	138	22.1%
6. 60歳代	81	13.0%
7. 70歳代	69	11.1%
8. 80歳代以上	25	4.0%
無回答	2	0.3%
計	624	100.0%

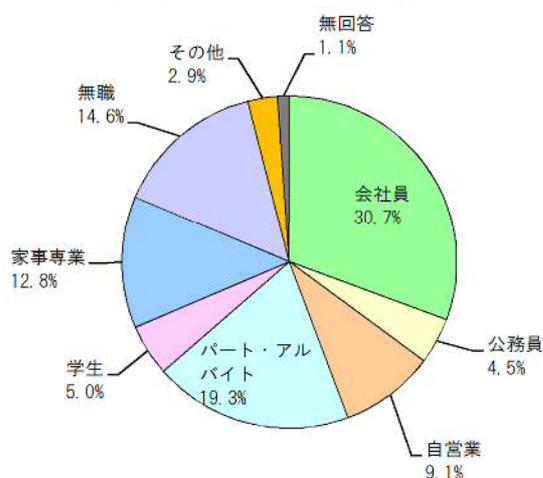


設問3: あなたの職業をお答えください。

(兼業の場合は主とする職業を選択肢の記号から1つ選んで○をつけてください。)

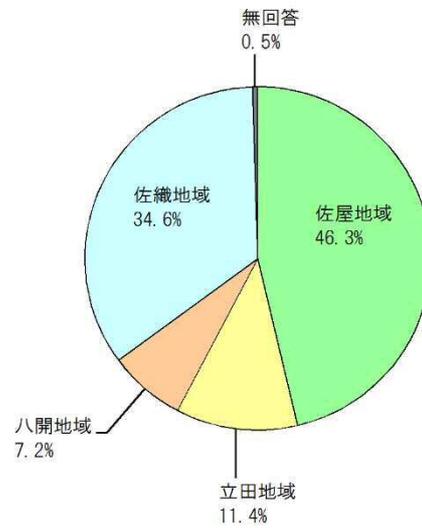
選択肢	件数	比率
1. 会社員	191	30.7%
2. 公務員	28	4.5%
3. 自営業	57	9.1%
4. パート・アルバイト	120	19.3%
5. 学生	31	5.0%
6. 家事専業	80	12.8%
7. 無職	91	14.6%
8. その他	18	2.9%
無回答	7	1.1%
計	623	100.0%

複数回答による集計除外1名



設問4：あなたの住んでいる地域をお答えください。  
 (選択肢の記号から1つ選んで○をつけてください。)

選択肢	件数	比率
1. 佐屋地域	289	46.3%
2. 立田地域	71	11.4%
3. 八開地域	45	7.2%
4. 佐織地域	216	34.6%
無回答	3	0.5%
計	624	100.0%

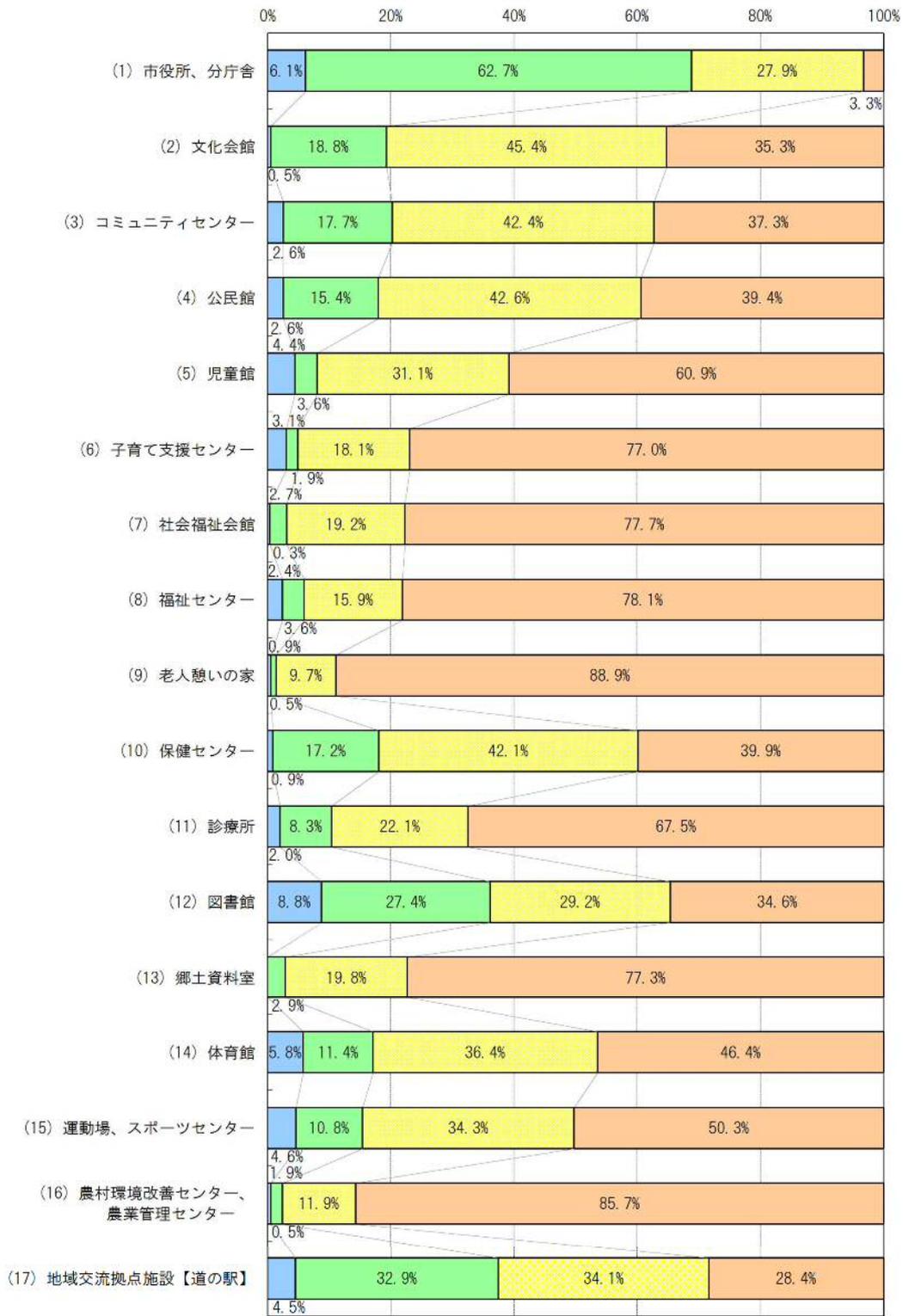


**Ⅱ. 公共施設等（公共施設及びインフラ資産）に対するあなたの利用状況及び満足度についてご意見をお聞かせください。**

設問5: あなたが利用している市内の公共施設についてお聞きします。「施設種別」ごとの利用頻度について、該当する選択肢の番号(1~4)から1つ選んで○をつけてください。

[件数]

施設種別	利用頻度					計
	月に数回程度	年に数回程度	ほとんど利用していない	今まで利用したことがない	無回答	
(1) 市役所、分庁舎	37	378	168	20	20	623
(2) 文化会館	3	111	268	208	33	623
(3) コミュニティセンター	15	104	249	219	34	621
(4) 公民館	15	90	249	230	38	622
(5) 児童館	26	21	182	356	36	621
(6) 子育て支援センター	18	11	106	451	35	621
(7) 社会福祉会館	2	16	112	453	37	620
(8) 福祉センター	14	21	94	461	33	623
(9) 老人憩いの家	3	5	57	520	38	623
(10) 保健センター	5	101	247	234	34	621
(11) 診療所	12	49	130	396	34	621
(12) 図書館	52	162	173	205	31	623
(13) 郷土資料室	0	17	116	453	36	622
(14) 体育館	34	67	215	274	33	623
(15) 運動場、スポーツセンター	27	64	203	297	32	623
(16) 農村環境改善センター、農業管理センター	3	11	70	504	35	623
(17) 地域交流拠点施設【道の駅】	27	196	203	169	28	623



※無回答を除く。

設問6: あなたが利用している市内の公共施設についてお聞きます。「施設種別」ごとの①施設数、②立地状況、③利用可能時間、④利用料金の満足度について、下欄【選択肢】1～3の番号から1つを選んで○をつけてください。(利用したことのある施設種別のみの回答で構いません。)

①施設数 [件数]

施設種別	満足度				計
	満足している	どちらともいえない	満足していない	無回答	
(1) 市役所、分庁舎	302	193	33	96	624
(2) 文化会館	169	201	22	232	624
(3) コミュニティセンター	162	204	21	237	624
(4) 公民館	140	208	21	255	624
(5) 児童館	119	192	18	295	624
(6) 子育て支援センター	68	196	25	335	624
(7) 社会福祉会館	52	213	21	338	624
(8) 福祉センター	60	214	17	333	624
(9) 老人憩いの家	37	207	19	361	624
(10) 保健センター	156	186	33	249	624
(11) 診療所	62	201	43	318	624
(12) 図書館	212	158	48	206	624
(13) 郷土資料室	45	220	20	339	624
(14) 体育館	148	188	35	253	624
(15) 運動場、スポーツセンター	130	199	37	258	624
(16) 農村環境改善センター、農業管理センター	35	220	18	351	624
(17) 地域交流拠点施設【道の駅】	179	196	51	198	624

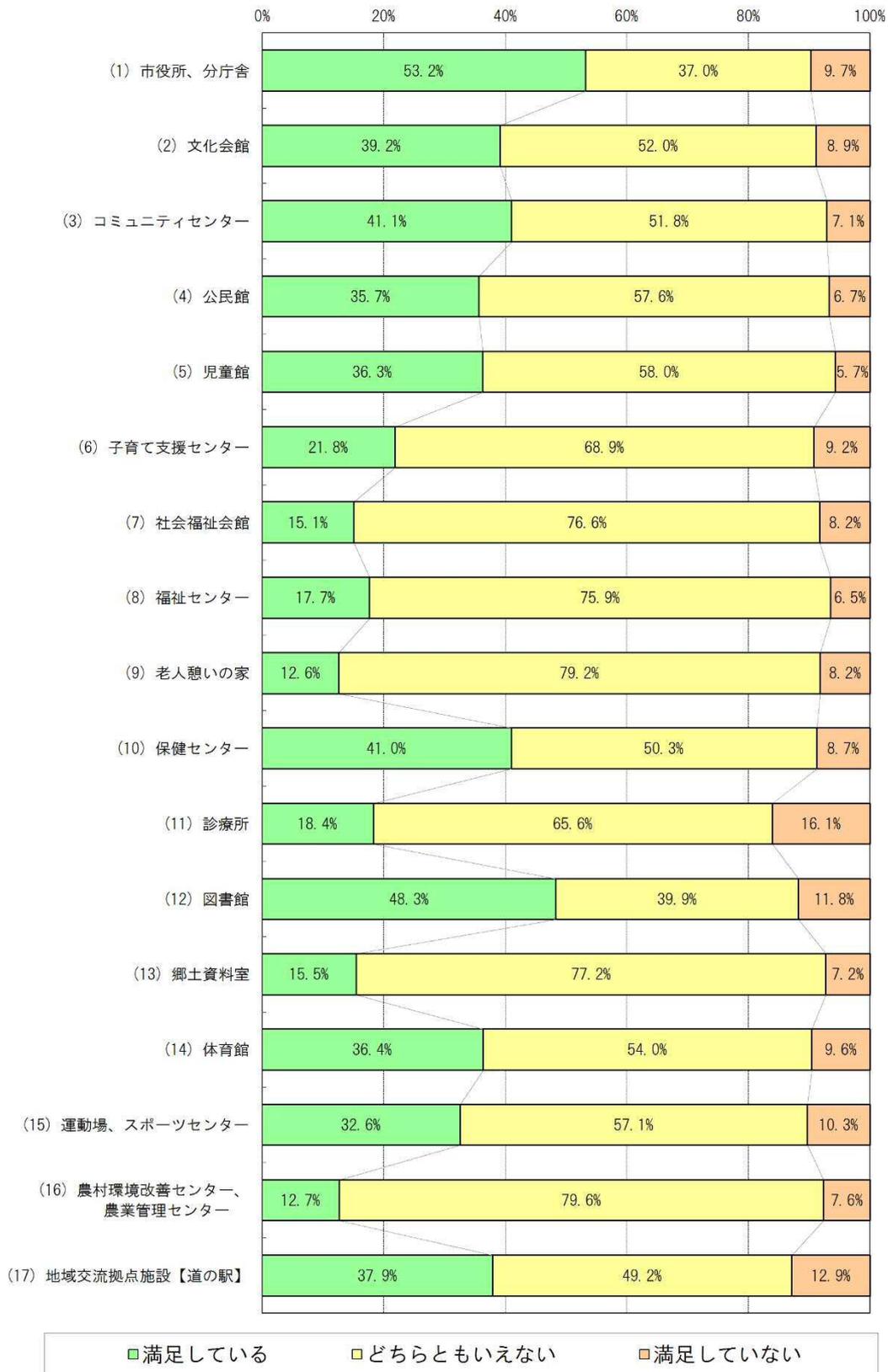


※無回答を除く。

②立地状況

[件数]

施設種別	満足度				計
	満足している	どちらともいえない	満足していない	無回答	
(1) 市役所、分庁舎	279	194	51	100	624
(2) 文化会館	159	211	36	218	624
(3) コミュニティセンター	161	203	28	232	624
(4) 公民館	133	215	25	251	624
(5) 児童館	121	193	19	291	624
(6) 子育て支援センター	64	202	27	331	624
(7) 社会福祉会館	44	223	24	333	624
(8) 福祉センター	52	223	19	330	624
(9) 老人憩いの家	34	213	22	355	624
(10) 保健センター	155	190	33	246	624
(11) 診療所	56	200	49	319	624
(12) 図書館	205	169	50	200	624
(13) 郷土資料室	45	224	21	334	624
(14) 体育館	136	202	36	250	624
(15) 運動場、スポーツセンター	120	210	38	256	624
(16) 農村環境改善センター、農業管理センター	35	219	21	349	624
(17) 地域交流拠点施設【道の駅】	162	210	55	197	624

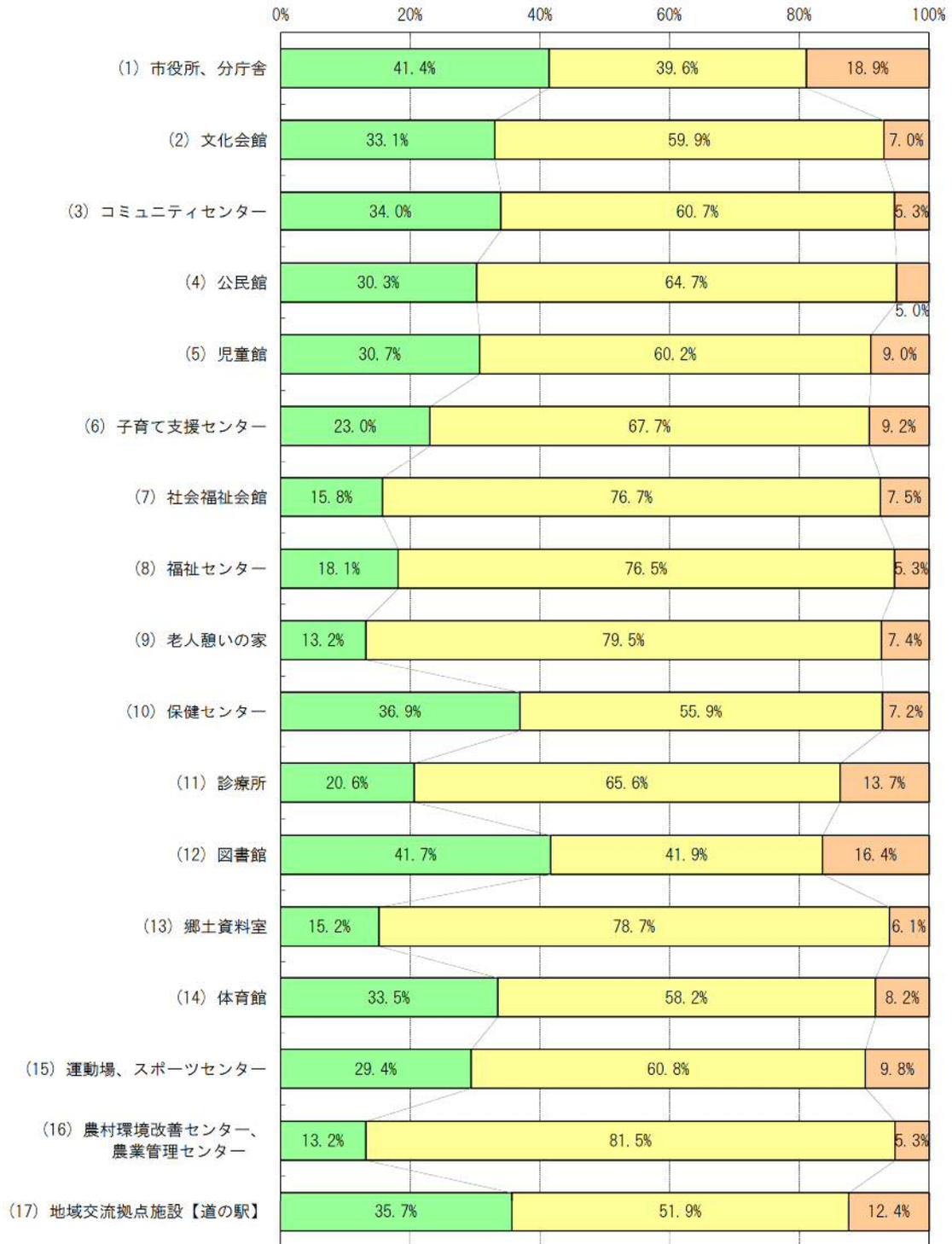


※無回答を除く。

③利用可能時間

[件数]

施設種別	満足度				計
	満足している	どちらともいえない	満足していない	無回答	
(1) 市役所、分庁舎	212	203	97	112	624
(2) 文化会館	128	232	27	237	624
(3) コミュニティセンター	128	229	20	247	624
(4) 公民館	108	231	18	267	624
(5) 児童館	99	194	29	302	624
(6) 子育て支援センター	65	191	26	342	624
(7) 社会福祉会館	44	214	21	345	624
(8) 福祉センター	51	215	15	343	624
(9) 老人憩いの家	34	205	19	366	624
(10) 保健センター	134	203	26	261	624
(11) 診療所	60	191	40	333	624
(12) 図書館	170	171	67	215	623
(13) 郷土資料室	42	218	17	347	624
(14) 体育館	122	212	30	260	624
(15) 運動場、スポーツセンター	105	217	35	267	624
(16) 農村環境改善センター、農業管理センター	35	216	14	359	624
(17) 地域交流拠点施設【道の駅】	147	214	51	212	624



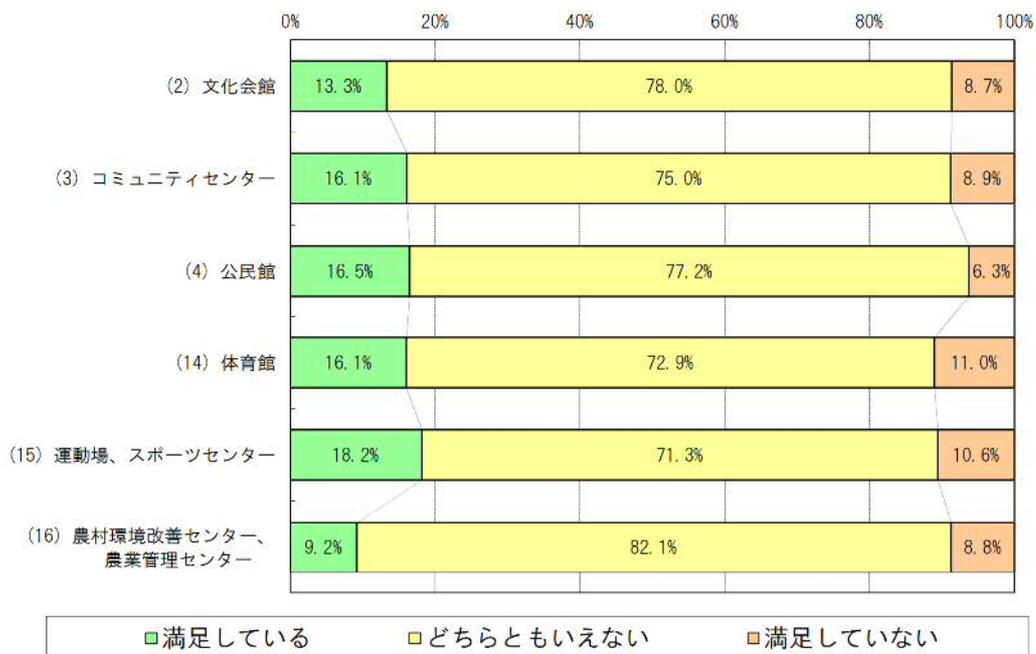
満足している     
 どちらともいえない     
 満足していない

※無回答を除く。

④利用料金

[件数]

施設種別	満足度				計
	満足している	どちらともいえない	満足していない	無回答	
(2) 文化会館	40	234	26	324	624
(3) コミュニティセンター	51	237	28	308	624
(4) 公民館	50	234	19	321	624
(14) 体育館	48	218	33	325	624
(15) 運動場、スポーツセンター	55	216	32	321	624
(16) 農村環境改善センター、農業管理センター	22	197	21	384	624

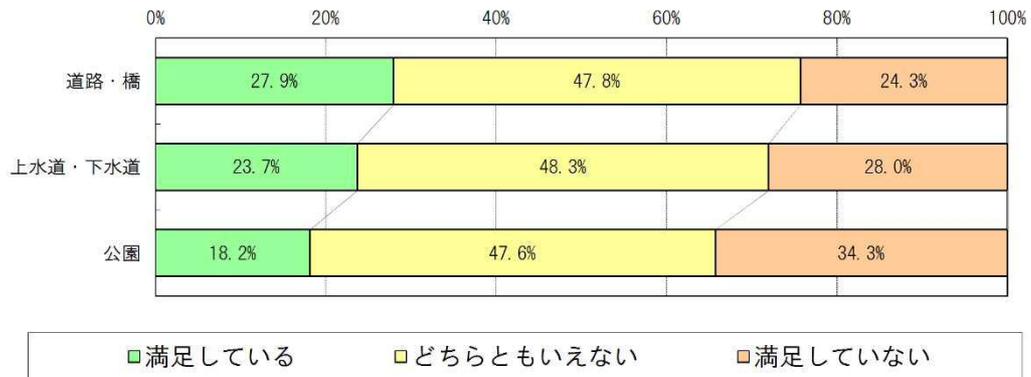


※無回答を除く。

設問7: あなたが利用している市内のインフラ資産についてお聞きます。  
 インフラ資産ごとの満足度について、該当する選択肢の番号(1~3)から1つ選んで○をつけてください。

[件数]

施設種別	満足度				計
	満足している	どちらともいえない	満足していない	無回答	
道路・橋	169	289	147	19	624
上水道・下水道	143	291	169	21	624
公園	108	283	204	28	623

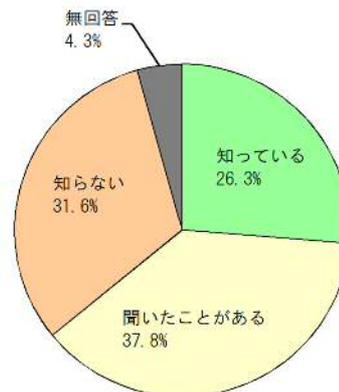


※無回答を除く。

### Ⅲ. 公共施設等に対するあなたの考えについてお聞かせください。

設問8: 日本では、昭和40年代から50年代にかけて、公共施設等を一齐に整備しました。現在これらの公共施設等は、一齐に老朽化しつつあり、また、近い将来、一齐につくり直さなければいけない時期を迎えますが、少子高齢化と人口減少が進む中で、地方自治体の財政状況は悪化し、全ての公共施設等を維持することが難しくなります。このことは、「公共施設の更新問題（老朽化問題）」といわれていますが、あなたはこのことを知っていましたか。  
(選択肢の番号から1つ選んで○をつけてください。)

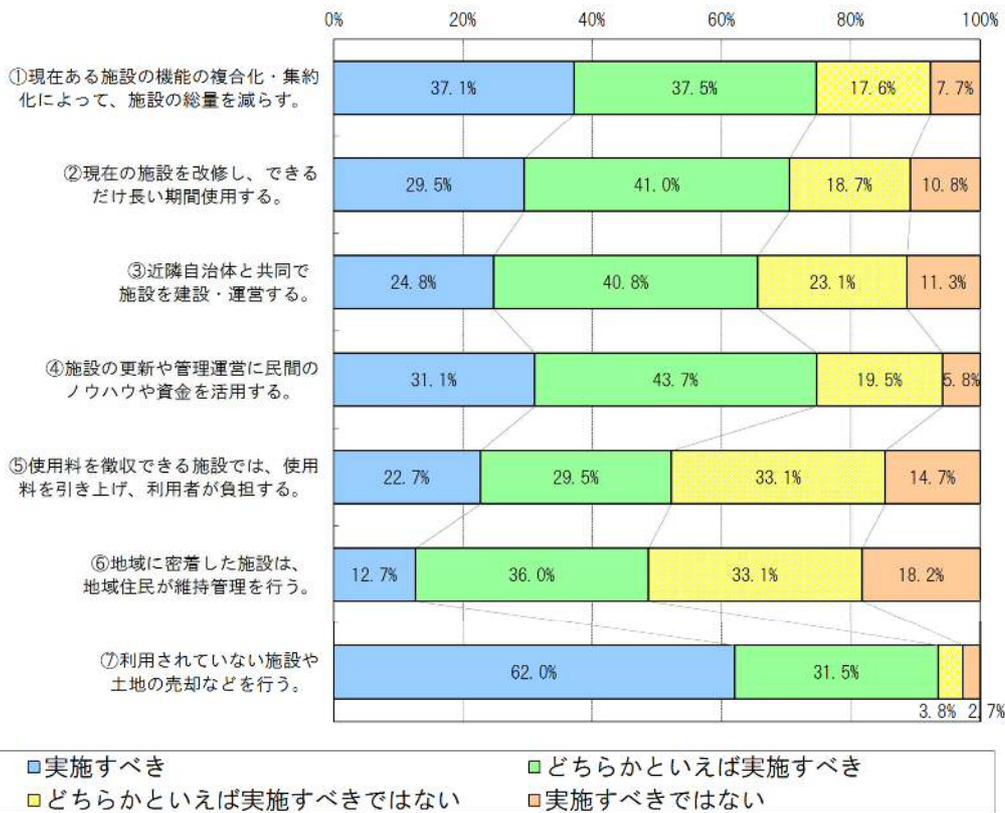
選択肢	件数	比率
1. 知っている	164	26.3%
2. 聞いたことがある	236	37.8%
3. 知らない	197	31.6%
無回答	27	4.3%
計	624	100.0%



設問9： 今後、全ての公共施設等を維持していくことが困難となることが想定されるなか、維持可能な規模を定め、公共施設等を通じた行政サービスの維持・向上のための最適な施設配置や効率的な管理運営を行っていく必要があります。あなたは、公共施設等を通じた行政サービスの維持・向上のために、愛西市としてどのような方策をとるべきだとお考えですか。下記の方策について、あなたのお考えに最も近いものを該当する選択肢の番号(1～4)から1つ選んで○をつけてください。

[件数]

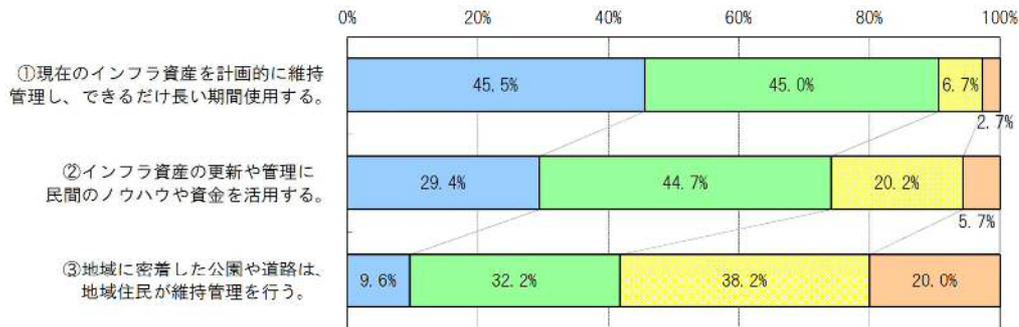
公共施設	方策					計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
①現在ある施設の機能の複合化・集約化によって、施設の総量を減らす。	221	223	105	46	29	624
②現在の施設を改修し、できるだけ長い期間使用する。	177	246	112	65	24	624
③近隣自治体と共同で施設を建設・運営する。	147	242	137	67	31	624
④施設の更新や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する。	182	256	114	34	38	624
⑤使用料を徴収できる施設では、使用料を引き上げ、利用者が負担する。	136	177	198	88	25	624
⑥地域に密着した施設は、地域住民が維持管理を行う。	75	213	196	108	32	624
⑦利用されていない施設や土地の売却などを行う。	372	189	23	16	23	623



※無回答を除く。

[件数]

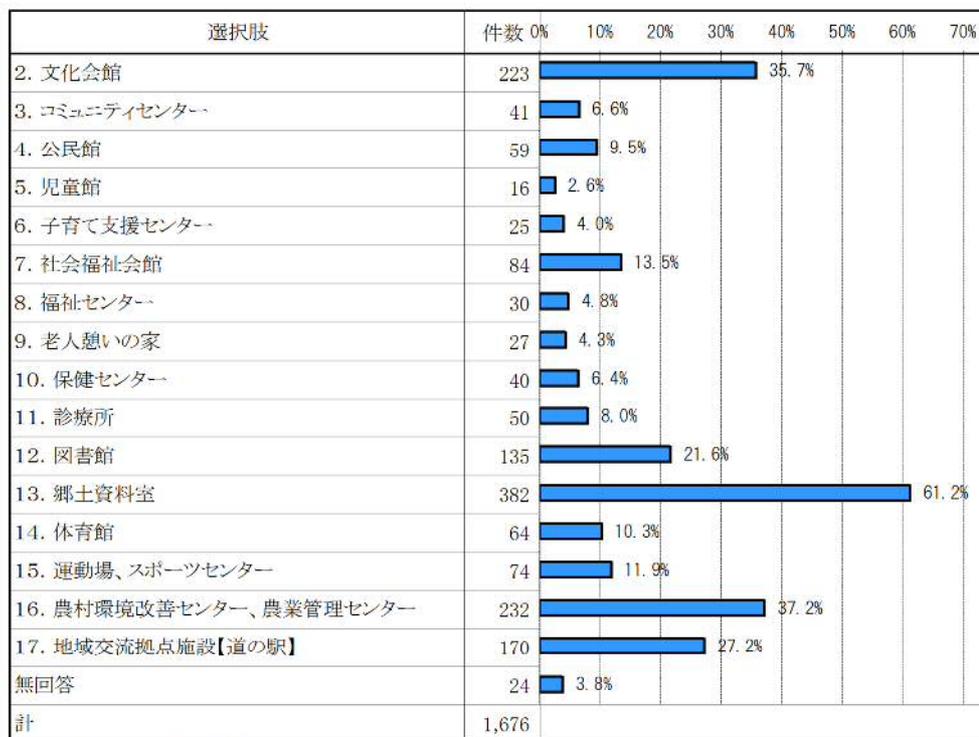
インフラ資産	利用頻度					計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
①現在のインフラ資産を計画的に維持管理し、できるだけ長い期間使用する。	271	268	40	16	29	624
②インフラ資産の更新や管理に民間のノウハウや資金を活用する。	175	266	120	34	29	624
③地域に密着した公園や道路は、地域住民が維持管理を行う。	57	191	227	119	29	623



■実施すべき	■どちらかといえば実施すべき
■どちらかといえば実施すべきではない	■実施すべきではない

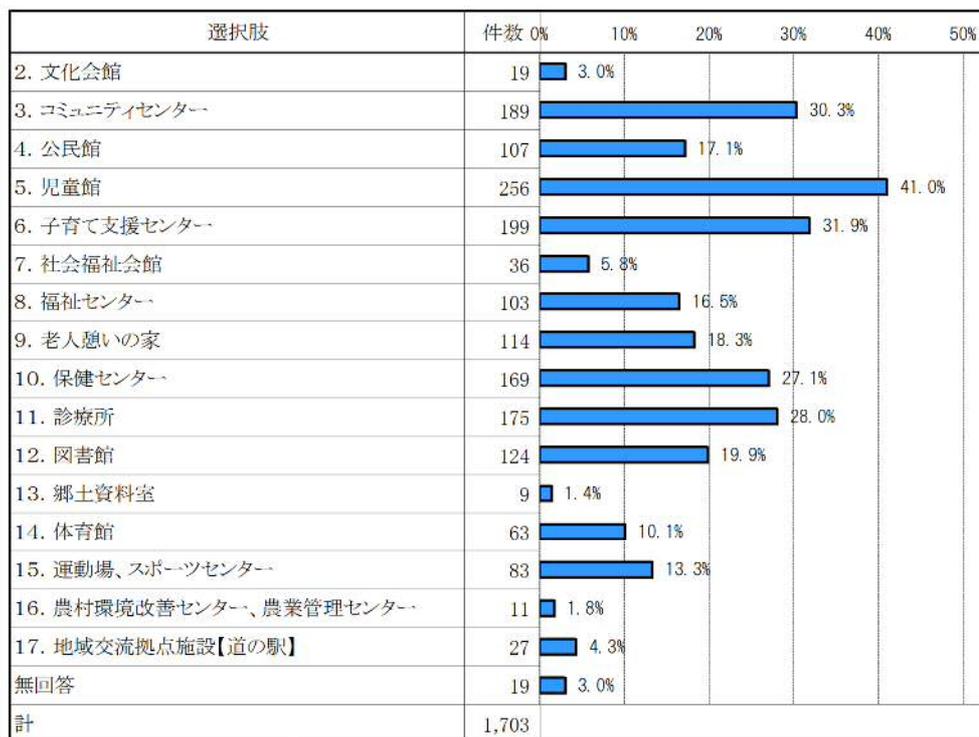
※無回答を除く。

設問10: 施設種別ごとにおいて、特に市に1ヶ所のみあれば構わないと考える公共施設をお聞かせください。(該当する選択肢の番号に3つまで○をつけてください。)



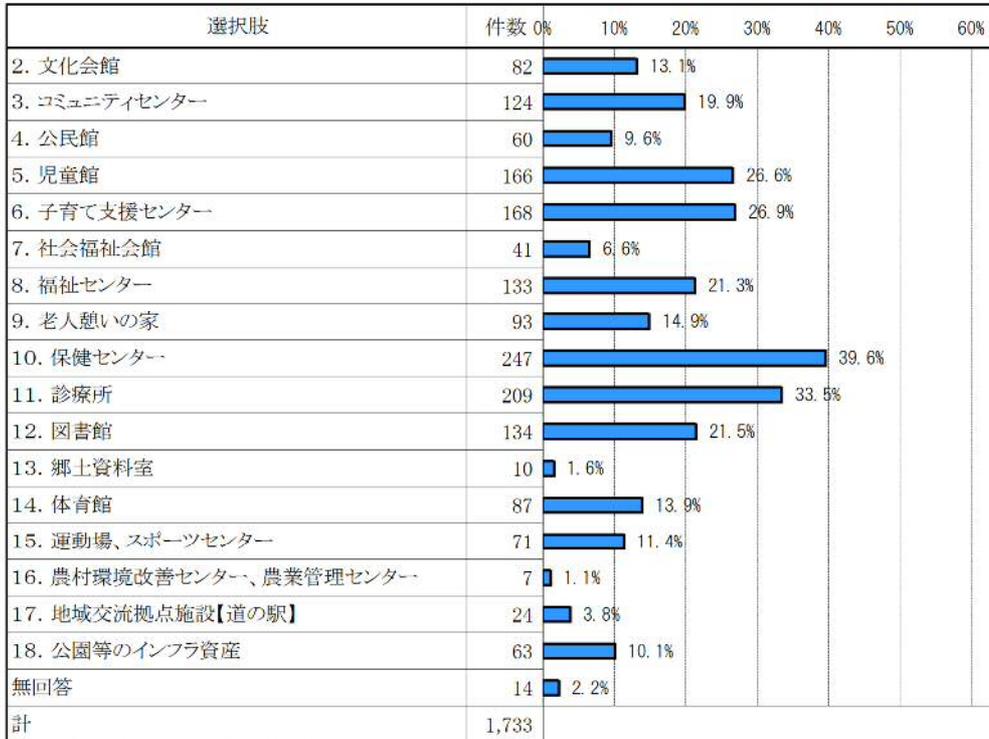
※4つ以上の回答者 14人含む

設問11: 施設種別ごとにおいて、特に各地域に1ヶ所必要だと考える公共施設をお聞かせください。(該当する選択肢の番号に3つまで○をつけてください。)



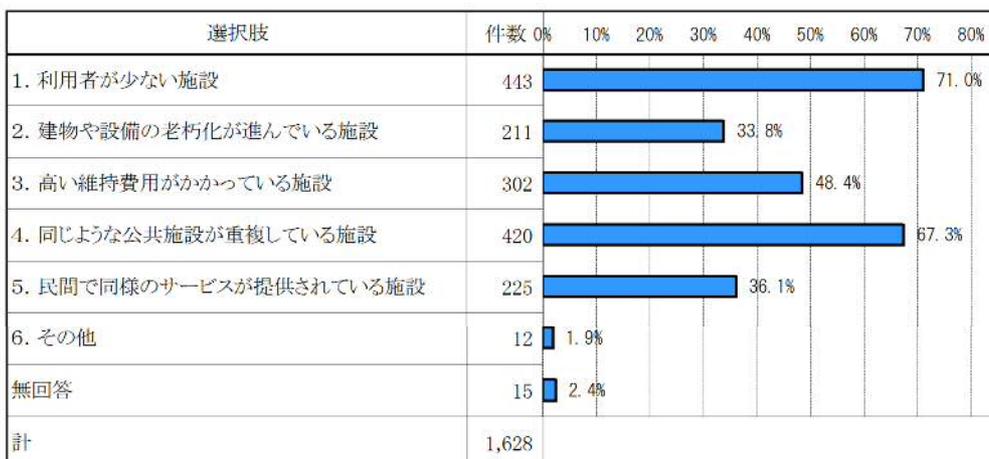
※4つ以上の回答者 15人含む

設問12: 現在ある全ての公共施設等を維持できなくなった場合、将来にわたって市が優先的に維持・充実していくべきだと考える公共施設等をお聞かせください。(該当する選択肢の番号に3つまで○をつけてください。)



※4つ以上の回答者 11人含む

設問13: 現在ある全ての公共施設等を維持できなくなった場合に、どのような公共施設等を統廃しても構わないと思いますか。あなたの考えに該当する選択肢を3つまで選び、番号に○をつけてください。



※4つ以上の回答者 4人含む

## 2. 用語解説

ア行	維持管理	公共施設等を日常的に点検して必要に応じて手を加え、機能や性能を良好な状態に保つこと。
カ行	合併算定替期間	合併算定替とは合併した地方公共団体（市町村）に対する特例措置として設けられている制度で、合併前の地方公共団体ごとに普通交付税を計算して合計する、合併後10年間のこと。
	義務的経費	歳出における人件費・扶助費・公債費等の支出が制度的に義務づけられている経費のこと。
	旧耐震基準	建築基準法及び建築基準法施行令が改正される、昭和56年（1981年）5月31日以前の設計基準のこと。
	激変緩和期間	合併算定替期間終了後の5年間のこと。 この期間中に普通交付税は段階的に縮減され、合併後16年目からは合併後の本来の算定（「一本算定」という）による額の交付となる。
	公債費	借り入れた地方債の元金や利息の返済に要する経費のこと。
サ行	指定管理者制度	公の施設の管理に民間の能力やノウハウを幅広く活用し、市民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的に、地方公共団体が指定する法人その他の団体などに、公の施設の管理を委ねる制度のこと。
	除却	公共施設等を解体、処分及び撤去すること。
	新耐震基準	昭和56年（1981年）6月1日に施行された建築基準法及び建築基準法施行令に定められた設計基準のこと。
タ行	耐用年数	建築物等の資産が、壊れず使用に耐えうる年数のこと。
	地方交付税	国の収入から、一定の割合を地方公共団体の財政状況等に応じて配分されるお金のこと。
	長寿命化	公共施設等を将来に渡り長く使い続けるため、適切な時期に手を加えることにより、耐用年数を延ばすこと。
	投資的経費	道路、学校、公共施設の建設等その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費のこと。普通建設事業費等が含まれる。
ハ行	BCP（事業継続計画）	事前に災害や事故が発生した時の対応を整理・準備しておき、有事の際にも速やかに復旧・再開できるように計画を立てること。

ハ行	PFI	プライベート・ファイナンス・イニシアティブ (Private Finance Initiative) の略。 公共施設等の建設、維持管理、運営等に民間の資金、経営的及び技術的な能力を活用し、効率化やサービス向上を図る公共事業の手法のことをいう。 PPP の代表的なものの一つ。
	PPP	パブリック・プライベート・パートナーシップ (Public Private Partnership) の略。官民連携のこと。 民間の資本やノウハウを利用して効率化やサービス向上を目指すことを目的とし、公共サービスの提供に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念のこと。
	PDCA サイクル	PLAN (計画)、DO (実行)、CHECK (評価)、ACTION (改善) の4つのステップを1つのプロセスとして捉えて運営していくこと。
	扶助費	高齢者、障がい者及び児童等を援助するための社会制度の一環として支給される経費のこと。
	普通建設事業費	公共施設等、社会資本の新增設等の建設事業に要する経費のこと。
	平準化	優先順位づけや効率的な維持管理、長寿命化の取組などにより、毎年異なる改修・更新等の費用のばらつきを少なくすること。
ヤ行	ユニバーサルデザイン	すべての人のためのデザインを意味し、老若男女といった差異や障がいの有無、能力などにかかわらず、できるだけ多くの人々が利用可能であるようにデザインすること。
	予防保全	損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕等を実施することで、機能の保持・回復を図る管理手法をいう。
ラ行	LCC (ライフサイクルコスト)	建築物や構造物に関する生涯費用とも呼ばれ、企画設計、建設、管理運営、解体処分までの全期間に要する費用のこと。

### 3. 策定委員名簿

#### (1) 平成 27 年度

(敬称略)

氏名	選出区分	備考
鈴木賢一	学識経験者 (名古屋市立大学大学院教授 芸術工学研究科長・学部長)	委員長
佐藤峻	学識経験者 (愛知県建築士事務所協会津島支部会員・建築士)	副委員長
小野隆彦	学識経験者 (愛西市立勝幡小学校校長)	
大野伸二	学識経験者 (愛知県海部建設事務所 道路整備課長)	
大野宏行	学識経験者 (海部南部水道企業団 配水課長)	
飯谷幸良	愛西市職員 (総務部長)	
佐藤信男	愛西市職員 (企画部長)	
加藤清和	愛西市職員 (経済建設部長)	
横井一夫	愛西市職員 (上下水道部長)	
石黒貞明	愛西市職員 (教育部長)	
猪飼明	愛西市職員 (福祉部長)	

#### ◆オブザーバー

氏名	選出区分	備考
宮川俊行	県派遣職員 (企画部参事)	
青山和充	県派遣職員 (企業誘致対策課主幹)	

#### (2) 平成 28 年度

(敬称略)

氏名	選出区分	備考
鈴木賢一	学識経験者 (名古屋市立大学大学院教授)	委員長
小野隆彦	学識経験者 (愛西市立勝幡小学校校長)	
近藤敦	学識経験者 (愛知県海部建設事務所 道路整備課長)	
大野宏行	学識経験者 (海部南部水道企業団 配水課長)	
佐藤信男	愛西市職員 (総務部長)	
山内幸夫	愛西市職員 (企画政策部長)	
猪飼明	愛西市職員 (市民協働部長)	
水谷辰也	愛西市職員 (健康福祉部長)	
恒川美広	愛西市職員 (産業建設部長)	
横井一夫	愛西市職員 (上下水道部長)	副委員長
石黒貞明	愛西市職員 (教育部長)	

#### ◆オブザーバー

氏名	選出区分	備考
宮川俊行	県派遣職員 (企画政策部参事)	

#### 4. 策定経過

委員会	開催日	議題
第1回愛西市公共施設等総合管理計画策定委員会	平成27年 8月4日(火)	●愛西市公共施設等総合管理計画策定について ●公共施設等マネジメント基本方針(素案)について
第2回愛西市公共施設等総合管理計画策定委員会	平成27年 11月18日(水)	●愛西市の保有する公共施設の類型別状況等について
第3回愛西市公共施設等総合管理計画策定委員会	平成28年 2月4日(木)	●施設類型ごとの管理に関する基本方針について ●公共施設に関する市民アンケートについて

市民アンケート(平成28年4月20日(水)～平成28年5月11日(水))

第4回愛西市公共施設等総合管理計画策定委員会	平成28年 5月26日(木)	●平成28年度のスケジュールについて ●アンケート調査結果(単純集計)について ●愛西市公共施設等総合管理計画(案)について
第5回愛西市公共施設等総合管理計画策定委員会	平成28年 8月18日(木)	●アンケート調査結果について ●愛西市公共施設等総合管理計画(案)について ●パブリックコメントについて

パブリックコメント(平成28年10月3日(月)～10月31日(月))

第6回愛西市公共施設等総合管理計画策定委員会	平成29年 1月19日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パブリックコメントの結果について</li> <li>●愛西市公共施設等総合管理計画(案)について</li> </ul>  <p>鈴木委員長から日永市長へ「愛西市公共施設等総合管理計画」を提出</p>
------------------------	-------------------	---